おごおり校区 まちづくり通信

Vol.007
2019.7.15 発行
発行責任者
小郡校区
協働のまちづくり協議会

【会長挨拶】

小郡校区協働のまちづくり協議会
会長　吉田　一夫

夏空に入道雲がわき、日差しのまぶしい季節となりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和元年度小郡校区合同総会（小郡校区協働のまちづくり協議会総会）が６月１日に行われ、引き続き会長職を私が続行することになりました。

昨年は、会長に就任し、皆様のご指導ご協力を得まして大過なく務めることができましたこと、厚く御礼申し上げます。あっという間の一年間で、まちづくり協議会の役員や推進員及び地域、行政、各種団体、小中学校と力をあわせ、既存のまちづくり協議会５部会のまちづくり活動が主でありましたが、ボランティア精神で住民参加のまちづくり活動を行い、認知度アップを図って参りました。

さて、本年度はスローガン「**思い合う、気持ちが生み出す、地域の輪**」を掲げ、地域の人と人とのつながりを基本として、ボランティア精神でまちづくりに、協議会の全員が全力で取り組みます。

一方で、行政による必置部会が見直され、健康福祉部会のみが必置部会として残り、３部会（防災部会、青少年育成部会、環境衛生部会）については、より自由な発想で、多様な地域のまちづくりが可能となり、現状全般にわたり、見直しの検討を進めております。

また、地域の身近な問題や課題の抽出を行い、地域や行政、各種団体、小中学校と連携を図りながら、出来ることから取り組みます。

引き続き、“まちづくり”に校区の皆様が気軽に参加出来るような仕組みを探求して、住民主体のまちづくりを推進すると共に、協働のまちづくり協議会の認知度アップを図って参ります。

最後に、皆様のご理解を賜り、本会の運営にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【小郡校区合同総会】

６月１日（土）小郡交流センターに於いて
小郡校区「人権のまちづくり」推進連絡会、
小郡校区人権問題啓発推進委員会、
小郡校区協働のまちづくり協議会
による令和元年度合同総会を開催しました。
総会終了後には、小郡校区人権問題啓発推進委員会事務局の的場さんと、小郡小学校の川口先生から、「今、大刀洗空襲を学ぶ」と題し、講演していただきました。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

令和元年度 小郡校区協働のまちづくり協議会役員紹介

会　　長	吉田　一夫	区長会推薦（小板井２）
副 会 長	福田　仁廣	区長会（寺福童）
会　　計	山口　　寛	防災部会長（開2）
事務局長	松田みつる	青少年育成部会長（西福童）
役　　員	井手　　哲	環境衛生部会長（小板井２）
役　　員	髙原　信博	健康福祉部会長（下町）
役　　員	山本　　繁	スポーツ部会長（開２）
役　　員	児島　征毅	区長会（小板井１）
役　　員	三根　　隆	区長会（新町）
役　　員	江副　貞憲	区長会（東町）
役　　員	渡邊　純子	校区コミュニセンター館長
役　　員	天本　幸祐	自治公民館代表（東町）
役　　員	大曲　正純	老人クラブ（駅前）
役　　員	北川　修一	小郡小学校 PTA 会長（大崎）
役　　員	松本　篤士	小郡中学校 PTA 会長（小板井２）
監　　事	吉富　純司	小郡小学校 PTA（寺福童）
監　　事	福田　武弘	小郡中学校 PTA（東町）

～皆様のご協力をお願いします～

事務局より

今年度も、まちづくり通信を通じて、皆さんに校区での取組をお伝えします。
また、校区内の行事などもお伝えできればと思っています。皆さんからの情報提供をお待ちしています。
また、広報活動に興味がある方、ご協力いただける方、一緒にまちづくり通信を作成しませんか。是非、事務局にご連絡ください。

【今年度の主な部会事業について】

各部会の主な取組事業についてお知らせします。

防災部会　部会長 山口 寛

通年テーマ「防災リーダーの育成」
・各行政区自主防災部会との連携を密にし、コミュニケーションの強化。
・「自主防災組織初動マニュアル」の作成完結。
・区長会とタイアップして、平常時に防災・危険箇所を確認、共有し、地域住民の皆さんには安心・安全をお届けする。

青少年育成部会　部会長 松田 みつる

青少年の健全育成に向けた事業に取り組みます。
・花いっぱい運動
・まなざしパトロール（青パト）
・体験事業等

環境衛生部会　部会長 井手 哲

各行政区の課題及び市からの情報を共有し、情報交換を通して区内への情報共有を図ります。
・動物被害への対応策。
・環境衛生に関する啓発チラシの作成配布。
・廃油等の活用促進への検討、啓蒙、研修、空き缶回収の促進等

健康福祉部会　部会長 髙原 信博

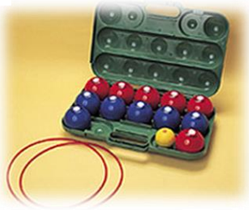
「笑いと健康」
・在宅介護者を対象としたある調査で、心の底からの笑いが健康を維持することに有効との結果が示されました。また、脳のトレーニングも老化防止につながることも証明されています。
今年度は高齢者の「笑いと健康」をテーマに活動を繰り広げます。

小郡校区協働のまちづくり協議会
(小郡交流センター内)　☎72－2846

スポーツ部会特集

今回は、スポーツ部会の取組について詳しくご紹介します。

【今年度の主な部会事業について】



スポーツ部会　部会長 山本 繁

スポーツを通じ、住民相互の交流を深めると共に、今年度は行政区と行政区をつなぐ活動で後押しを行います。

・ペタンク大会
・ダーツ大会
・ダーツ年間リーグ戦

ペタンク大会　～5 月 26 日（日）

今回は、5 月 26 日に小郡中学校体育館で開催されました、ペタンク大会の様子を取材しました。
皆さんはペタンク競技についてご存知ですか？
はじめにペタンクについて少しお話します。

～今年度の開会式の様子～

～ペタンクの歴史～

ペタンクは、1910 年に南フランスの港町ラ・シオタで生まれたボールスポーツです。プロヴァンサルという助走をつけて投球するゲームが、全員が同じ場所から投球するようになりピエタンケ(「両足を揃える」の意)からペタンクになったと言われています。発祥国フランスでは 500 万人以上がプレーを楽しんでおり､その内 40 万人がペタンクのライセンスを持ち様々な大会に参加しています。

　ペタンクが親しまれる理由は、どこでもほんの少しのスペースで気軽にプレーできるところにあります。ゲームではたった 1 球で形勢を有利にしたり、大量得点をとったりするところに面白さがありますが、そのためには集中力を必要とし、巧妙な戦略や高度な技術を身に付けなければなりません。思い通りの投球ができたり作戦が的中した時には、この上ない爽快感があるものです。

～公益社団法人　日本ペタンク・ブール連盟ホームページより引用～

ペタンクには屋外競技と屋内競技があります。
小郡校区のペタンク大会は、屋内競技のペタンクです。
この大会のために、行政区で予選会を行ったり、練習をしたりと、大会前から熱い戦いが繰り広げられています。

～審判～

大会の様子を写真と一緒にご紹介します。
今回は 14 行政区、30 チーム、約 150 人の方にご参加いただきました。子どもさんの参加も増えてきました。
定番の「博多弁ラジオ体操」での準備運動。
いよいよ試合スタートです。
参加者に質問してみました。
Q：ペタンクのいい所は？
A：年齢を気にせず参加できるし、スポーツが苦手な人でも参加できますね。
Q：参加されたのは何回目ですか？
A：大会がスタートして毎回参加しています。
皆さん、本当に大会を楽しんでいらっしゃいました。
さて、今大会の優勝は・・・
中町 B チームでした。
中町 B チーム、優勝おめでとうございました！！
参加していただいた皆さん、お疲れ様でした。
次は 11 月のソフトダーツ大会のご参加お待ちしています。

～えーい。まっすぐ飛んだかな～

～優勝　中町 B～

～一球一球丁寧に、慎重に～

ダーツ年間リーグ戦がはじまります!!

　6 月 30 日(日)より、ダーツ年間リーグ戦がスタートします。以前より、ダーツのリーグ戦を実行する準備をスポーツ部会で準備されていました。
今年度が、リーグ戦スタート元年となり、参加していただける行政区が増えることを期待しています。

今年度のリーグ戦参加行政区は・・・

- **開 2 区**　　**・小板井 1 区**
- **寺福童区**　　**・大崎区**
- **上町・東町区連合**

～昨年のダーツ大会のより～